

育成だより

第38号

平成26年7月18日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

健全育成は

「N」「T」「F」で!

貝塚中学校区育成委員会

会長 日暮 規夫

豪雨・降雹等天候不順が続いていますが、夏休みももう少しです。

授業参観に接し、低学年は明るく元気がよく、高学年は落ち着き、先生方の指導により活気溢れる授業風景でした。

本年は委員の一斉委嘱(2年)により、退任される皆様には長年のご尽力に御礼申し上げます。新委員の方々はご協力をお願い致します。

昨今、青少年に悪影響を与える薬物乱用、ネット、いじめなど外的・内的を問わずその環境は複雑になっております。

地域の方や団体等と連携図りながらの青少年問題に対する共通理解を深め、健全育成を推進する必要があります。

そのためには、情報体制・ネットワーク(N)、連携、協力体制・チームワーク(T)、行動力・フットワーク(F)が不可欠ではないでしょうか。皆様のご協力、ご支援を頂き、地域一丸となつ

て青少年の健全育成活動に務めてまいりますので、よろしくお願い致します。

育成委員会に感謝

貝塚中学校校長 高柳 雅年

子ども達が楽しみにしている、夏休みももう少しとなりました。貝塚中学校区育成委員会にはいつも大変に感謝しております。児童・生徒を中心にすえながら、青少年の健全育成に尽力いただきまして、大変ありがとうございます。

おかげさまで、生徒は元気に明るく活動しております。これも、一斉点検パトロール、サマーキャンプ、バザー・と本当に精力的に活動していただいているおかげだと思います。

そして、長期休業だけでなくふだんから点検活動や巡視など非行防止にも正面から取り組んでいただいております。大人がまず動くという体制は、子ども達にも必ず伝わるものです。地域で育まれた子どもに悪い子はいません。これからも、学校と地域が一体化となつて、ますます学校が発展できればと思います。

これからも側面から学校にご協力いただければと思います。

どうぞ、よろしく願います

地域・学校への愛着を

桜木小学校校長 佐藤 修

地域ぐるみで青少年の健全育成活動を推進している育成委員会の皆様には、日頃より地域と学校を繋ぎ、そして子どもたちに温かいまなざしを送っていただきありがとうございます。子どもたちが「桜木の地域で育つてよかった」「桜木小学校で学んでよかった」と地域・学校に愛着が持てるように、私も42人の職員は教育活動に精いっぱい取り組んでまいります。地域・保護者の皆様方におかれましては、これまで通りのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私が中学生か高校生の時、日本の教科書には日本最大級の貝塚である加曽利貝塚のことが記述されていました。北海道出身の私は、「千葉」と言うのと、「加曽利貝塚」と言うイメージがありました。そこで、千葉に出てきてすぐに加曽利貝塚を見にきたものでした。

現在、加曽利貝塚は国の史跡に指定されていて、美術品で言うならば「重要文化財」に相当します。数年前から、「国宝」扱いとなる特別史跡指定に向けて様々なことが取り組まれています。特

別指定を受ければ、地域に「国宝」があることとなります。素晴らしいことになりますね。子どもたちは、ますます地域に誇りと愛着を持つことでしょう。家庭・地域・学校で、今まで以上に加曽利貝塚に関わっていききたいものです。

「贈り物」に気付く子どもに

北貝塚小学校校長 齊藤 和範

今年度は、校舎の耐震工事のため、校門の前に立ち、全ての子どもたちと挨拶ができるようになりました。(昨年は、一日に半分ずつの子どもたちとしか挨拶ができませんでした。)日が経つにつれ、昨年の子どもたちの挨拶の仕方とは違ってきました。一人一人の「個性」が感じられる挨拶になってきたのです。

挨拶は、『あなたの一日がよりよいものでありますように』という祈りの言葉なのだそうです。ですから、思いが届いていることがわかれば、言った本人も嬉しいですし、無視されると意外なほど傷つきます。「挨拶」とは人から人への「贈り物」なのだということです。

一日一回は全児童に心をこめた「贈り物」ができるのは幸せなことです。北貝塚小の子どもたちは、それに気付いているのだと思います。さらに、自分が多くの人たちの「贈り物」に囲まれていることに気付ける子どもを育てたいと思っています。

地域・保護者に感謝して

桜木小学校教頭 青木 雅之

4月に桜木小学校に赴任してまいりました。平成3年から7年間加曽利中学校でお世話になっていました。加曽利中学校には桜木小学校の卒業生も多くおり、家庭訪問では、この地域を子どもたちに案内してもらいながら、一緒に回ったことをよく覚えています。新しい環境の中で、皆様のご指導をいただきながら頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

この4か月間で実感したことは、桜木小学校の子どもたちは、多くの方々に見守られて学校生活を送っていることです。保護者はもちろんのこと、登下校時間は、200名を超えるセーフティウォッチャーの方々が子どもたちの安全を守りながら、子どもにやさしい声をかけてくださいます。運動会や桜木っ子まつりなどの行事では、おやじの会の方々が目立たないところで裏方さんとして子どもたちのために活動してくださいます。子どもたちがふだんの清掃では行き届かないところを、後援会の方が汗にまみれて綺麗にしてくださいます。このような方々のおかげで、桜木小学校の子どもたちは、毎日、明るく元気に学校生活を送れています。本当に皆様方には感謝の気持ち

ちでいっぱいです。これからも未来ある子どもたちのためにご支援よろしくお願いいたします。

北貝塚小学校の最近の教育活動

北貝塚小学校教頭 田中 善範

本校の規模は桜木小と同様大きいので(27学級)職員の入替わりも多いのですが、職員の研修に対する熱心さ、そして児童が行事などに全力でぶつかっていく姿は今年も健在です。5月31日に行われた運動会も多くの保護者や地域の方の心を揺さぶるものとなりました。

昨年度と変えた点はチャイムです。本校で取り上げている研究テーマは算数ですが、26年度は基礎基本の徹底を重点に朝の10分間の「きそタイム」を充実させることになりました。長らく本校はノーチャイムでしたが、朝の10分に限りチャイムを鳴らすようにしました。

さて本校は昨年度体育館の耐震工事、校庭の雨水貯留工事が終わりましたが、6月中旬よりコンピュータ室などがある特別教室棟の耐震工事を行っています。9月までかかる予定ですが、この間職員駐車場が使えないため、車の来校をご遠慮願っております。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

今年度の主な行事予定

- ◎7/5 若葉区ブロック研修会
(会場 千城台南中)
- ◎7/19~8/31 夏休み対策活動(点検活動・巡視)
- ◎8/2 デイキャンプ(協力会)
- ◎8/2~8/3 サマーキャンプ(青少年相談員)
- ◎9/1 交通安全指導(福祉交通安全部会)
- ◎9/20 青少年の日・家庭の日
- ◎11/1 貝塚中バザー
- ◎12/6 地域ぐるみ一斉パトロール
*パトロールの参加ご協力お願いいたします。
- ◎12/23~1/5 冬休み点検活動
- ◎2/14~3/1 書き初め展開催(健全育成部)
- ◎3月 育成だより39号発行(広報部)

編集後記

今年はサッカーワールドカップがブラジルにて開催されました。日本選手のみならず、各国の素晴らしいプレーは多くの人々に感動を与えてくれました。選手は小さい頃からこの大会への出場を夢見てクラブ・部活動で練習を積み重ねたと思います。さらに世界へ活躍の場を見つけることもできる。サッカーに限らず、野球・舞台・歌・勉強など、努力が報われる場所があると思います。それは日々の目標と努力が結実したことは確かです。
「ローマは一日にして成らず」 広報部長 前島孝夫

平成26年度 育成会活動方針

地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年問題関係機関・団体の相互の連絡調整を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成活動を総合的に推進する。

- ①豊かな個性と自立・協調の精神を育て、地域ぐるみで21世紀に活躍できる青少年の健全育成を推進する。
- ②大人が率先して、マナーやモラルの低下を是正する努力をする。また、挨拶の励行や青少年に悪影響を与える薬物乱用等の有害環境を除去し、その浄化に努める。
- ③児童・生徒をとりまく危険性についての研修を行い、さまざまな被害から子どもたちを守る。
- ④「朝ごはん」をきちんと食べるなどの家庭教育の充実を図り、子育てにおける家庭教育の啓発につとめる。
- ⑤近所や各地域で気軽に相談できる環境作り、地域で児童・生徒の安全を守るための取り組みを積極的に推進する。

